

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成30年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
30-4	QOLに基づく道路事業評価手法の開発とSDGsへの貢献評価	中部大学 教授 林 良嗣	B
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>従来の経済効率性に基づく費用便益分析を超え、働く世代、高齢者、若者等の買物、通院、観光を含む多様な価値観に基づいたQuality of Life (QOL)の視点に立った道路事業評価手法を構築するとともに、道路事業による国連 Sustainable Development Goals (SDGs)への貢献度を包括的に評価する枠組みを開発する。</p> <p>&lt;中間評価結果&gt;</p> <p>価値観データベースの構築とそれを用いた各国の価値観の比較分析、QOL 評価指標を用いた道路事業便益評価のケーススタディ等を進めているが、QOL 指標値の算出方法や、QOL 評価指標を用いた道路事業便益評価の方法が明確でないという課題がみられる。このことから、指摘事項に留意しながら現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p>&lt;今後の研究計画・方法への指摘事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. QOL 指標値の算出方法、QOL 評価指標を用いた道路事業便益評価の方法や道路整備の SDGs への貢献評価方法が明確でないため、実務への組み入れまでを考慮に入れつつ、科学的な評価の方法論を明確化すること。</li> <li>2. 1.の方法論の明確化にあたっては、既存の方法との差異や、この方法の適合度、有用性等を合わせて整理すること。</li> </ol>			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第39回新道路技術会議において審議したものである。